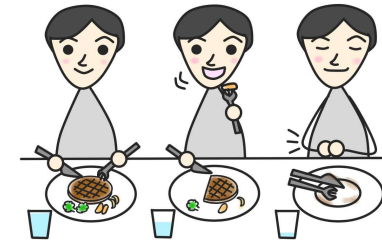


第4章 構文論 アスペクト（相）

1

<アスペクト（相）>

（始まる段階、継続している段階、終わる段階）



2

<アスペクト（相）>

- ：電車に乗るところだ。
- ：作文を書き始めた。
- ：作文を書いている。走り続けた。
- ：作文を書き終わった。
- ：小説を読み切った。全部食べてしまった。
- ：絵が飾ってある。ドアが開いている。

3

<表し方>

- 電車に乗るところだ。⇒ ①
- 作文を書き始めた。⇒ ②
- 作文を書いている。⇒ ③
- 食べたばかりだ。⇒ ④
- もう宿題をやった。⇒ ⑤

4

1

<「～ている」の用法 吉川武時>

「現代日本語動詞のアスペクト研究」(1976)

①

例) トムは今ごはんを食べている。図書館で勉強している。

②

例) トムはずっと立っている。葉っぱが落ちている。

8

③

例) トムは 毎日 図書館で 勉強している。あの2人は 会うたびに けんかしている。

④

例) トムはこれまで3回も登頂に成功している。私は高校のとき、1度 英検1級を 受験している。

9

⑤

例) この道は曲がっている。山がそびえている。技術がすぐれている。

⇒

10

<動詞の分類 金田一春彦> 「日本語動詞の一分類」(1950)

によって、動詞を4つに分類

★①

例) いる、ある

②

例) 食べる、読む、勉強する

③

例) 立つ、落ちる、(電気が) つく、開く

★④

例) 曲がる、そびえる、ばかげる

12

<動詞の分類 (金田一春彦)>

	例	ル形	テイル形	時間の流れ
	いる、ある、			
	食べる、読む		※動作の継続 by吉川	
	立つ、落ちる、知る (主に瞬間に動き が終わる動詞)		※動作の結果 の状態 by吉川	
	曲がる、そびえる		※単なる状態	

13

※1つの動詞が必ず金田一の4つの分類にあてはまるわけではない

例) 着る、はく、かぶる、(めがねを) かける、(傘を) さす、

・トムはジーンズをはいている。⇒|

・トムは試着室でジーンズをはいている。⇒

・花子は着物を着ている。⇒|

・花子はこれから写真を撮るので、今着物を着ている。⇒

14

<その他の考え方>※整理ノートP40

藤井正「『動詞+ている』の意味」(1966)

例) 「太る、乾く、(髪が) 伸びる」

⇒瞬間動詞に分類されているが、

「目撃する」

⇒瞬間動詞に分類されている

これらの動詞は、瞬間動詞ではなく、

に分類すべき

15

<最新の文法書による動詞の分類>

①状態動詞

動作動詞

(読む、遊ぶ、楽しむ、走る、見る、建てる)

変化動詞 (暖まる、成長する)

②動き動詞

動作動詞 (一瞥する、目撃する)

変化動詞

(立つ、座る、落ちる、知る、死ぬ、閉まる)

16

① 状態動詞 :

- ・語彙的な状態動詞:状態動詞としての用法しか持たない、
本来の状態動詞

例) ある、いる、異なる、存在する、可能形

- ・用法的な状態動詞:本来は動きを表すが、用法により
状態動詞になる

例) 曲がる、分かれる⇒動きを表す(主体変化動詞)
曲がっている、分かれている⇒状態を表す(状態動詞)

17

② 動き動詞 :

- ・ 継続動詞 :
(テイル形で継続を表す)

例) 読む、遊ぶ、楽しむ、走る、見る、建てる

- ・ 瞬間動詞 :
(テイル形で結果の状態を表す)

例) 立つ、座る、落ちる、知る、死ぬ、閉まる、届く

18

②動き動詞

- ・ 動作動詞 :
(主体がどのような動作をするかを表す)

例) 読む、遊ぶ、楽しむ、走る、見る、建てる(継続動詞)
一瞥する、目撃する(瞬間動詞)

- ・ 変化動詞 :
(主体がどうなるかを表す)

例) 乾く、太る、成長する(継続動詞)
立つ、座る、落ちる、知る、死ぬ、閉まる、届く(瞬間動詞)

19

<てある>

・
・
・

例) 玄関のドアに鍵がかけてある。

枕元に懐中電灯が置いてある。

※「動作をした人」を言う場合、動作の対象はヲ格

例) 先生が窓を開けてある。

27

<ておく>

・

例) 来週から忙しくなるから、週末はたくさん寝ておこう。

明日は30課を勉強します。単語の意味を調べておいてください。

・ 話し言葉では になることがある



31

<「ておく」の意味>

①

例) 来週の発表までに考えておきます。

単語の意味を調べておいてください。



②

例) 読んだ本は元の棚に戻しておいてください。

コピー用紙がなくなったら補充しておいて。



32

③

例) この後も会議があるから、このままにしておいて。

友達にもらった手紙を大切にしまっておく。



33

<つつある>

・

+ つつ +
接続助詞

例) なる、変わる、失う、近づく、進む、広がる、なくなる等

・

例) 課題が終わりつつある。

けがが治りつつある。

外が暗くなりつつある。



36

<てしまう>

- ・ 動詞のて形 + しまう
- ・ 話し言葉では になることがある

例) 早く課題を終わらせてしまおう。(未来完了)
おもしろかったので、全巻一気に読んでしまった。

37

<アスペクトではない「てしまう」の用法>

- ・ 例) 財布を落としてしまった。
- ・ 例) 壊れちゃうからやめて…
- ・ 例) 試験に受かってしまった。
- ・ 例) 好きになってしまった。



38

<てくる (時間的用法)>

- ・ 動詞のて形 + くる (形式動詞)
- ・ 徐々に変化したことを表す 継続していること、

例) この10年間、ゴルフの練習を続けてきた。
4月になり、暖かくなってきた。

- ・ (この用法は「ていく」にはない)

例) 山が見えてきた。
生まれてくる子供のためにベッドを買った。



40

<ていく (時間的用法)>

- ・ 動詞のて形 + いく (形式動詞)
- ・ 徐々に変化することを表す 継続することや

例) 今後も勉強を続けていく。
留学生の数は増えていくだろう
時間とともに心の傷が癒えていった。



42

< アスペクトではない「てくる」「ていく」(空間的用法) >

を基準に、

を表す

「てくる」

- ・話し手から見て、あるものが

場合に使う

例) 鳥がこっちに向かって飛んでくる。

- ・話し手が、

ことを表す

例) すぐにコピーしてきます。

44

< アスペクトではない「てくる」「ていく」(空間的用法) >

「ていく」

- ・話し手から見て、あるものが

場合に使う

例) 飛行機が東に向かって飛んでいく。

- ・話し手が、

場合に使う

例) 家におじゃまするとき、何かおいしいものを買っていくね。

45

<ところだ>

- ・ところ(形式名詞) + だ(「断定」の助動詞)

.

①「～するところだ」…例) 今から電車に乗るところなんだ。

48

※「もう少しで／～したら ～するところだった」

⇒

ある出来事の想定を表す

例) もう少しで大けがをするところだった。あと2分出るのが遅かったら、遅刻するところだった。

49

②「～しているところだ」…

であることを表す

を説明するときによく使われる

例) 今、料理しているところだから、あとでかけ直すね。会議の資料を作成しているところです。

50

③「～していたところだ」

…

例) Bちゃん、おはよう。

今、Aちゃんと夏休みについて話していたところなんだけど、
Bちゃんも一緒に京都行かない？

52

④「～したところだ」…例) 私はさっき駅に着いたところだよ。Aくんは今どこ？※「～したところに」「～したところで」の形で、例) うるさいカップルが帰ったところに、今度は団体客が来た。
山の中腹に着いたところで、昼ごはんを食べた。

53

<ばかりだ>

・ ばかり（副助詞）＋だ

・ 「～たばかりだ」の形で、例) 3年前に大学を卒業したばかりだ。
去年引っ越してきたばかりだ。
30分前に食べ終わったばかりだ。

・

例) 買ったばかりの車を傷つけてしまった。

55

「～たところだ」 「～たばかりだ」



- 「～**た**ところ」 ⇒

例) 今、授業が終わったところ。(終わった数分後)

- 「～**た**ばかりだ」

⇒

例) ○ 3年前に大学を卒業したばかりだ。

× 3年前に大学を卒業したところだ。

テンス (時制)

60

60

日本語のテンスは2つ

- ① 「**非過去**」 ⇒

ル形とは:

- ② 「**過去**」 ⇒

タ形とは:

61

61

<絶対テンスと相対テンス>

絶対テンス ⇒ を基準とする

例) 午前中、銀行に行**った**。

これから 買い物に行**く**。

63

63

相対テンス ⇒

例) 寝るとき、すべての電気を消します。

新幹線に乗るとき、キヨスクでお茶を買った。

新宿に行ったとき、紀伊国屋で本を買った。

64

64

新幹線に乗るとき、キヨスクでお茶を買った。

69

69

<ル形（非過去）の文>

述語が

・

を表す

例) ごはんを 食べる。

・

を表す

例) 毎朝 コーヒーを 飲む。

77

77

<ル形（非過去）の文>

ある、いる、可能形（話せる、書ける・・・）etc

述語が

・

を表す

例) ここにテーブルがある。月がきれいだ。彼は学生だ。

・

を表す

例) 天気予報によると、明日も晴れた。

78

78

＜ル形（非過去）の文＞

恒常的な表現

- 例) 教室での喫煙を禁止する。
- ・
- 例) ジャガイモは土の中で育つ。
- ・
- 例) 毎朝、新聞を読む。
- ・
- 例) 太陽は東から昇る。
- 例) 目は口ほどにものを言う。
- 
- A cartoon illustration of a young girl with brown hair, wearing a pink long-sleeved shirt, sitting at a desk and looking at a black and white cat. The cat is sitting on the desk, looking back at the girl. There are small yellow starburst effects around the cat's head. On the desk, there is a small blue plate with some food on it.
- 79



75

79

<タ形の文>

- ①もう宿題をしましたか？ ⇒はい、しました。(|
「 | 」を聞いている

アスペクトの表現

- ②昨日宿題をしましたか？⇒はい、しました。()

80

80

<テンスとアスペクト>

- テンスは、

を表す

- ・ アスペクトは、

を表す

(始まる段階、継続している段階、終わる段階)

81

81

＜過去、完了以外のさまざまな「タ形」＞

- ①

- ・
 - ・ 言い換えられる
- 例) 汚れた服を洗濯した。 壁にかかった絵を見て。

- ②

例) おなかがすいた。 驚いた。 困った。 ほっとした。

82

82

③

(叙想的テンスの「タ」)

・
例) そうだ、明日はテストだった。

・
例) (探し物が) あった、あった!

・
例) 来週は、休みだったよね?

・
例) さあ、買った、買った!

・
例) もっとまじめに勉強しておくべきだった。



83

83

R3【試験I】

問題1 次の(1)~(5)について、【 】内に示した視点から見て、他と性質の異なるものを、それぞれ1~5の中から一つずつ選べ。

(10)【タ形の意味】

- 1 頑張ったものの、彼女には全く追いつけなかった。
- 2 こんなところに、おしゃれなレストランがあったんだ。
- 3 去年の今ごろは、沖縄の海で泳いでいたんだ。
- 4 今は物腰の柔らかい彼も、昔は生意気だったな。
- 5 せっかくの日曜日に、彼には悪いことをしてしまったな。

84

モダリティ

モダリティとは…

・

・

・ **ムード**、法、陳述 とも

よ!らしい。って!
よね? はずがない。

87

87

88

12

命題 とは…

- ・
- ・ **コト** 、叙述内容

のびたが先生にほめられていた

よ！らしい。って！
よね？ はずがない。

89

<モダリティの分類>

① ⇒

例) のびたはテストで**100**点を取ったようだ(推定)。
にちがいない(確信)。
技能実習制度は廃止する**べきだ**。(当然)

② ⇒

例) のびたが学年で1位だったよね(聞き手への同意・確認)？
授業の後、映画を**見**に行こう(勧誘)。
もっと勉強する**べきだ**。(必要)

90

<主なモダリティの形式>

- ・ **助動詞** :
- ・ **形式名詞+断定の助動詞「だ」** :
- ・ **終助詞** :
- ・ **呼応の副詞** :
- ・ **授受表現** :
- ・ **待遇表現** :

92

<断定のモダリティ>

のびたが学年で1位だ。

⇒ ・

・

他の例) のびたがコーヒーを**飲む**。
この駅は**静かだ**。
ペンギンは**鳥類だ**。

94

<意志のモダリティ>

「わたしは学年で1位だ。(〇)」

⇒

①

⇒表面的にはモダリティの形式がないが、
意志のモダリティが含まれている

②

例) 来年留学しよう。来年留学するつもりだ。

95

<推定・伝聞のモダリティ>

①「らしい」

● **推定** ⇒ 「どうやら」「どうも」と共起

例) [どうやら／どうも] あの学生は文法が苦手らしい。

● **伝聞** ⇒ 「～によると」「～の話では」と共起

※聞いた情報をもとに推測する時に使うことが多い

例) 森先生 [によると／の話では] あの学生は8月に退学するらしい。

96

②「ようだ」

● **五感による推定** ⇒

、彼はかなり疲れているようだ。

、田中さんは来月異動になるようだ。

と共起



● **例示** ⇒ 彼のような人になりたい。

● **比喻** ⇒ まるで妖精のようだ。



98

③「みたいだ」

● 意味は、「ようだ」とほぼ同じだが、

例) あの店は静かなようだ／静かみたいだ。 ⇒

彼のような／彼みたいな人になりたい。 ⇒

まるで妖精のようだ／妖精みたいだ。 ⇒

● 「ようだ」は書き言葉、「みたいだ」は話し言葉

99

④「そうだ」 (様態・推定)

- 「降り そうだ。」と共起

例) 雨が 降り そうだ。
(形)



-
- 例) おばあちゃんは、元気そうだった?
もう少しで終わりそう?

100

④「そうだ」 (伝聞)

- 「～によると」「～の話では」と共起する

例) 天気予報によると、午後から雨が降る そうだ。
(形)

- 「かもしれない」に接続する

例) トムがこれから来るかもしれない そうだ。

101

⑤「って」「んだって」「だって」 (伝聞)

- 「って」 ⇒ 伝聞

例) お母さんが、ごはんできたって。

- 「んだって」 ⇒ とほぼ同じように使える

例) 来月、新入生が来るんだって／

- 「だって」 ⇒

例) 「俺は天才だ」だって。ちょっと笑っちゃうね。

102

<確信のモダリティ>

「にちがいない」

-

例) 彼は朝から機嫌がいいので、何かいいことがあったにちがいない。



-

例) 彼は優秀な学者になるに相違ない。



105

「にきまっている」



例) 大谷選手がいるのだから、WBCは日本が優勝するにきまっている。

高級店なんだから、高いにきまっている。

誰だってみんなの前で怒られたくないにきまっている。

106

「はずだ」



例) たしか彼はまだ10代はずだ。 ⇒

あの店は静かはずだ。 ⇒



例) 台風が来なければ、今日コンサートが開催されるはずだった。

この辺りに店があるはずだが。

107

<説明のモダリティ>

「のだ」



●話し言葉では、「んです」「んだ」「の」

例) 電車が止まっているんです。 ⇒

あ、来週は授業ないんだ。 ⇒

そうじゃないんです。 / 今から行くんだよ。

⇒

110



例) これ食べたい! ?これ食べたいんだ!

わあ、うれしい。 ?わあ、うれしいんだ。



●「のだった」 ⇒

例) そうだ、今日は会議があるんだった。

もっと前から準備しておくんだった。

111

「わけだ」



例) 仕事が繁忙期だったらしい。勉強する時間がないわけだ。
学校は今夏休みか。どうりで人出が多いわけだ。

● 会話で軽く使われる (「推論」は感じられない)

例) ひまだったから、図書館に行ったわけ。
そしたら小学生でいっぱいだったわけ。

112

● 「わけだ」の否定形は3種類

・勉強したくないわけではない。⇒

・ただの風邪で、会社を休むわけにはいかない。

⇒

・彼がそんなこと言うわけがない。

⇒

113

「ものだ」



例) 人生は厳しいものだ。⇒

子どもの頃、よく川で遊んだものだ。⇒

上司によくそんなことが言えたもんだ。⇒

114

「ものだ」に関連する表現

・ ⇒

例) 犯人のものと思われる。

・ ⇒ (話し言葉では「もんか」)

例) お前なんか負けるもんか。

・ ⇒ (話し言葉では「もん」)

例) だって眠いんだもん。

115

「ことだ」

例) 試合で負けたくなければ、もっと練習することだ。

とにかく今はゆっくり休むことだよ。

また優勝するなんて、本当にすごいことだ。

無断で休むとは、とんでもないことだ。

116

「ことだ」に関連する表現

・

⇒

例) さぞつらかったことだろう。

もっと早く対応していれば、ここまでの騒ぎには
ならなかったことと思う。

117

・ ⇒

例) どんなにうれしかったことか。

・ ⇒

例) 事故があったが、乗客は全員無事だったということだ。

・ ⇒ (上品な話し言葉)

例) まあ、素敵なドレスですこと。

118

<義務・必要のモダリティ>

「べきだ」

例) 約束の5分前には来るべきだ。

あの制度は廃止すべきだ。

否定形

・「べきではない」 ⇒

・「べきではなかった」 ⇒

例) そんな言い方をするべきじゃなかった。

学校は彼を退学にするべきではなかった。

119

18

「なければならない」

例) 日曜日でも仕事をしなければならない。

授業で行う活動練習について考えなければならない。

120

<伝達のモダリティ>

「よ」

⇒ **聞き手への伝達**

例) あしたは休みだよ。

⇒

例) あ、財布が落ちましたよ！

危ないよ！

122

「ね」

⇒

例) 森さんですね。

⇒

例) 今度、行きたいね。

※文中で使う「ね」（間投助詞）

⇒ **聞き手を意識しながら話しているということを聞き手に示す**

例) きのおね、偶然、駅で友達に会ったんだけどね、明日から転勤でアメリカに行くんだって！

123

「よね」

⇒

例) あしたは休みだよね。

⇒

例) 楽しかったよね。

準体助詞「の」+「か」 ⇒

例) どうしたんですか。

どうして～んですか。

124